

戸田市教育振興計画の役割

現行計画の課題

新計画の方向性

今後5年間に取り組む教育改革の方向性を明確化する。

既存施策を中心とした構成のため、焦点が不明確となってしまう、策定後の活用がしづらい。

成長する計画

個別施策は省略し、基本理念・目標等の大筋のデザインを示す。実践の積み上げや最新のデータ等は計画の補助資料として、最新の状況を常に把握できるようにする。

施策の立案・見直し等において、専門的・多角的な検証が行われることを担保する。

毎年度の進捗のチェックが形骸化してしまっている。数値目標の適確性が不明確。

EBPMの核となる計画

シンクタンクの活動などを通じて、その都度最新のデータをもとに課題を捉え、施策を見直し、新規施策を考えていく。EBPMの核とする。

市民や教育関係者（保護者・教職員・その他関係者や関係機関）の理解・信頼を得る。

全体像がわかりにくい。市民を始めとした関係者にほとんど認知されていない

（参考）
・教育振興計画のウェブサイトへのアクセス数：約1%（*）

「一枚」の計画

見る者に教育改革のビジョンがしっかり伝わるよう、全体像を1枚で描き、ストーリーを伝えるものとする。知りたい事項に応じてその具体的内容や実践を調べられるようにする。

（*）20歳以上の市民のうち計画にアクセスした人の割合

「教育振興計画」の見直しについて（案）

新計画に盛り込む事項

基本理念

（例）

生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田
～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～
「希望を持ち、思いやり、未来を拓くため
最後までやり抜く児童生徒」

ストーリー

（例）

とだっ子が、学力などの「認知能力」だけでなく、好奇心や自制心、やり抜く力などの「非認知能力」を身につけ、夢や希望を持ち、21世紀を主体的に生き抜いてほしいとの思いから定めています。

目標・方針

（例）

- 学校の教育力の強化
 - ・授業改善
 - ・教職員の働き方改革
 - ・教育環境の整備
- 誰一人取り残さない学びの保障
 - ・多様なニーズへの対応
- 地域・家庭・産官学が一体となった学びの支援
 - ・地域に開かれた学校
 - ・生涯学習
 - ・産官学の連携
- EBPMの推進

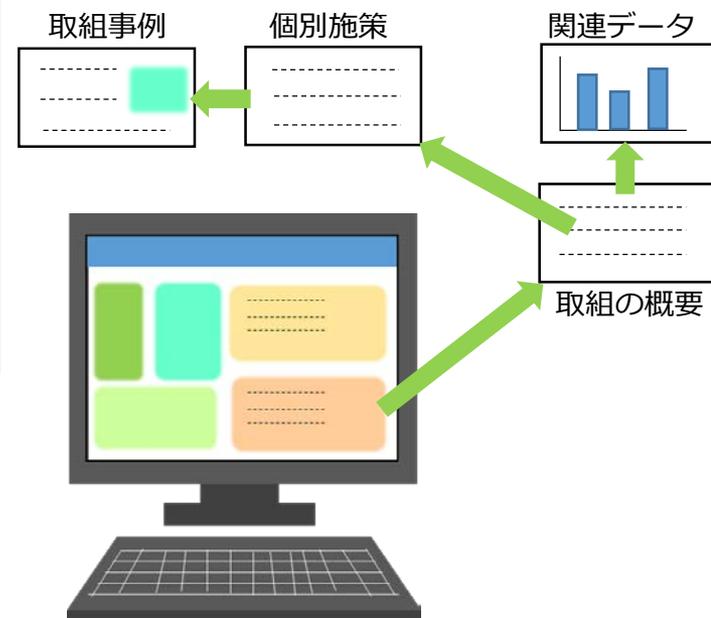
（モニタリング指標）

（例）

- ・授業の内容がわかる児童生徒の割合
- ・子供たちを伸ばした教員の割合

新計画のイメージ

ウェブ上に教育改革の今後の構想を描いた1枚の絵を示し、任意の項目をクリックすることにより概要や具体施策、データ等が表示されるようなシステムとする。全体像の一枚紙は紙でも配布し、そこにQRコード等を添付する。



新計画の策定スケジュール

7月

9月

10月

12月

2月

3月

教育委員会

教育振興計画
検討委員会①

教育振興計画
検討委員会②

教育委員会

パブコメ

教育振興計画
検討委員会③

教育委員会

教育委員会
決定

関係者ヒアリング

